

生き方の素敵なあの人、今、注目のこの人に  
“節度ある好奇心”をもって徹底インタビュー

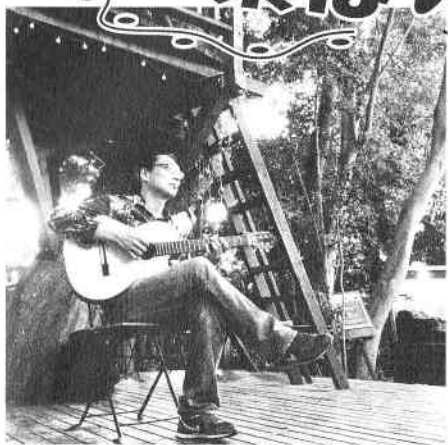
## 「音楽で世界を旅する」

JAZZギタリスト

鈴木健也 さん

生涯をかけてできるものを求めて  
この道にという鈴木さんに  
夢を語ってもらいました

# 根ほい 葉ほい



1973年(昭和48)11月17日東京生まれ、小学校6年生から習志野市立香澄小学校・第七中学校、県立船橋高校普通科卒業後、一年間自宅浪人して上智大学理工学部数学科入学。中退して、アルバイトしながら演奏活動を始めました。大学の先輩はサクソ奏者・作曲家の菊地成孔さんです。

幼い頃には絵を描いてばかり。当時「お坊さんか絵描きになりたい」と、思っていました。サラリーマンの父親から「絵描きは金にならない」と言われ、たどり着いたのがギター。部屋に一人で練習できるため、高校入学直前に始めました。

今でも世界中のいろいろな音楽を聴きます。当時、第二人がいた香澄FCの鈴木代表から頂戴したジャズギター

スト、Wes Montgomery『Road Song』のCDに感動。「生涯かけてできるもの」、「高齢になってもアドリブ(自由即興)で作曲が一人でも演奏できる音楽」としてジャズを選びました。自分のスタイルで自由即興できるのには、かなりの年数が：なんだって自由になるには一朝一夕ではできません。

三十代前半から六年間、鬱で服薬していました。当時、ギターどころか音楽も聴けず、一人で海に行つてポオーツと過ごす毎日。断薬後、50kg体重も減つて演奏活動を再開。ここ一年間は、ギター講師の他、月に千葉周辺十カ所ほどをチップ制で回つてます。

なので、若輩者の頃からキャリアは一応長いですが、ブランクも長いです。活動を再開したのは、現在もアートのスペース(稲毛オーブンスタジオ)と一緒に運営している画家のお二人の影

響が強いです。幼い頃になりたかった画家の方、黙々と制作活動されていて。絵画作品から受ける感動は強く：自分の人生を根本から覆された感じでした。

ここ一年間、画家の加藤修氏、版画家の山田治作氏にそれぞれ捧げた自作曲『V t o M』『さかな、そら、つち、かぜ』を聴いてもらいに回る一人旅になりました。

ところで鬱の時期、ボランティアでいろいろな場所へ演奏に：。保育所、幼稚園、学童ルーム、病院、高齢者施設、障がい者福祉施設、就労支援作業所など。特に学校に行くのを諦めた子達にギターを教えたり。それと日本在住のいろんな外国人が集まる酒場や、駐日ラオス大使館、森林再生のワークショップでの演奏。

そんな経験が『音楽で世界を旅する』がテーマの、私のソロギター演奏に結

びついたのでしょう。砂漠、草原、山岳海の向こう、国境を越えて：。たどり着いたオアシスで聞こえてくる水のせせらぎ、上の薫り、喜怒哀楽あふれる音楽そして、静寂。聴いている方々が旅人になって、それを感じてもらえたら：と。

当面の目標は、フツターのサラリーマンの両親に、自分の生き方を納得してもらえるようにCDアルバム自主制作。それと、健常に演奏活動を続けることです。

難しい話を並べたかもしれませんが、案外ひょうきんな人間です。なので、気楽に演奏場所にお越しください。ほとんどの場所はチップ制(投げ銭)です。

習志野市では、京成大久保駅前にあるピストロConfit(習志野市大久保1・24・17 Tel 070・5557・5222)。毎月第三金曜日20時から演奏しています。

### 第23回 卒サラを考える はずんだフォーラム 〈どうするあなたの10万時間〉

「船橋市時活村」は平成7年4月設立。サラリーマンなら誰もが経験する「定年」を考え始めた人から、既に定年になった人々が〈定年Ⅱ卒サラ〉という共通項で、ヒューマンネットワークを結ぼうという集まりです。

第23回フォーラム

・開催日 6月2日(土)

午後1時30分～4時10分

・会場 船橋市東部公民館講堂

JR津田沼駅下車

徒歩5分

新京成新津田沼駅下車

徒歩5分

・参加費 無料 予約不要

主催 NPO法人船橋市時活村

Tel 047・402・2414

(月～金10時～16時)

<http://www.jikatsumura.com/>